

令和 4 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	地理歴史・世界史B・世界史演習	単位数	6 単位	選択
対象学年・組	3年選択者 1講座			
	高橋 剛			
教科書等	詳説世界史（山川出版社）最新世界史図説タペストリー十九訂版（帝国書院）			

学習の目標	世界史の通史を完成させ、大学入試に対応できる能力をつけさせる。さらに、地理的条件や日本の歴史を関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことを目標とする。
-------	---

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① オリент文明	72	古代の諸地域の文明および前近代のヨーロッパの成立、特色、比較等を分かり易く解説する。地理的な学習も随所に取り入れる。中学校社会科の内容との連続性に配慮しながら、各古代文明の特色・比較等について生徒に調査・発表させるような主題学習も数回行って生徒に興味・関心を持たせるようにする。その際、各地域世界の人々の生活・宗教・意識などを具体的に把握できるようにし、政治史のみの学習にならないように留意する。
	② 地中海世界の展開		
	③ アメリカの古代文明		
	④ ヨーロッパ世界の形成と発展		
	⑤ 諸地域世界の交流		
	⑥ 近代ヨーロッパの成立		
	⑦ ヨーロッパ主権国家体制の展開		
2学期	⑧ 欧米における近代社会の成長	84	主に近現代のヨーロッパ史について分かり易く解説する。市民革命の意義等を的確に把握させる。地理的分野も含めて主題学習を展開するようにする。また年表・地図その他の資料を積極的に活用したりするなどして、具体的に学ばせるように工夫する。
	⑨ 欧米における近代国民国家の発展		
	⑩ アジア諸地域の動揺		
	⑪ 帝国主義とアジアの民族運動		
	⑫ 二つの世界大戦		
	⑬ 冷戦と第三世界の自立		
	⑭ 現代の世界		
	⑮ 問題演習		
3学期	⑯ 共通試験直前問題演習		大学受験のための学習の仕上げ。
	⑰ 論述試験個別指導		
	⑱		
	⑲		
	⑳		

評価の観点・方法	定期試験の成績のみならず、課題や提出物、授業態度などを総合的に勘案して評定を行う。
----------	---